

事務事業評価シート(平成27年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

| 事務事業コード | 事務事業名 | 担当課 | 担当係名 | 所属長(課長等)名 | 担当係長名 | |
|-----------------|--|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|--------------|--|
| 55131 | 埋蔵文化財整理活用事業 | 生涯学習課 | 文化係 | 原 照代 | 福島 永 | |
| | | 一次評価年月日 | 平成 28 年 6 月 27 日 | 連絡先〔内線〕 | | |
| 事務事業実施の根拠・位置づけ | 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) | 会計区分 | | 予算コード | 事業名(歳出予算見積書) | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 | 1067 | | 文化財保護事業 | | |
| | <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 | #N/A | | | | |
| | 第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ | 章 (コード選択) | 5章 | 学びあいと育てあいのまちづくり | | |
| | | 節 (コード選択) | 5節 | 地域文化の保護と育成 | | |
| | | 項〔基本施策〕 (コード選択) | 1項 | 文化財の保存と活用 | | |
| 目〔主な施策〕 (コード選択) | | 3目 | 文化財保護活動への支援 | | | |
| 関連する計画等への位置づけ | <input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 | <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 | <input type="checkbox"/> 主要業務報告 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 事務期間 | (開始) 年度 ~ (終了予定) 年度 | <input type="checkbox"/> 開始時期不明 | <input checked="" type="checkbox"/> | 終期設定なし | | |

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民(特に未来を担う子どもたち)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

埋蔵文化財の発掘調査によって得られた資料(遺構・遺物等)を整理保存して、将来の人々に記録を残す。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 1 これまでに発掘調査を行った遺跡の遺構図面や遺物の整理作業。実測、作図、説明・考察原稿の作成。
- 2 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行。
- 3 展示公開による情報の提供。
- 4

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | | | |
|----|-----|--------------------|------|---------------------|------------------|--------|-------------|------|-------|
| | | 26年度 | 27年度 | 27年度 (見込み) | 達成率 | 27 | 年度 (見込み) | | |
| ① | 指標名 | 遺構図面・遺物実測、作図作業 | | 時間 | 3,543 | 16 | 5,000 | 0.00 | 5,000 |
| | 説明 | 遺構図面・遺物実測、作図作業延べ時間 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 | 残すべき記録の作成にかかる時間数 | | | | |
| ② | 指標名 | 報告書の刊行、展示回数 | | 件 | 2 | 2 | 1 | 2.00 | 1 |
| | 説明 | 報告書の刊行、展示遺跡数 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 | 情報提供機会の件数 | | | | |

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | | | |
|----|-----|----------------|------|---------------------|-------------------------|--------|-------------|------|-----|
| | | 26年度 | 27年度 | 27年度 (見込み) | 達成率 | 27 | 年度 (見込み) | | |
| ① | 指標名 | 遺構図面・遺物実測、作図作業 | | 枚 | 412 | 1,905 | 900 | 2.12 | 900 |
| | 説明 | 遺構図面・遺物実測図枚数 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 | 実施年度からの推計。 | | | | |
| ② | 指標名 | 報告書の刊行、展示公開 | | 冊 | 200 | 200 | 200 | 1.00 | 200 |
| | 説明 | 報告書の刊行、展示公開冊数 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 | 情報提供を多くの人に、広い範囲で提供すること。 | | | | |

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

| | | | | |
|---|--|--------------|--------------|--------------|
| ○総事業費(コスト概算) =①+② | (千円) | 平成25年度 決算 | 平成26年度 決算 | 平成27年度 決算 |
| | | 25,297 | 22,722 | 24,523 |
| 対前年比 | % | | 89.8 | 107.9 |
| A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など) | | 8,442 | | |
| B) 一般財源(税金) | | 16,855 | 22,722 | 24,523 |
| ①事業費 | (千円) | 25,277 | 22,702 | 17,902 |
| 対前年比 | % | | 89.8 | 78.9 |
| ②人件費の概算 | | 20 | 20 | 6,621 |
| 対前年比 | % | | 99.9 | 33516.3 |
| | | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 |
| | | | | |
| 町職員(正規職員) | | 0.00 | 0.00 | 0.82 |
| 非常勤等職員(臨時職員) | 人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算シート) | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

| 視点 | 項目別評価 | 判定 | 評価結果 | |
|-----|-------------------------------------|----|--|--|
| 妥当性 | 1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか | A | A 増加傾向にある C 減少傾向にある | B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください |
| | 2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか | A | A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる | B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない |
| | 3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか | A | A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある | Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| | 4. 目的(意図)の設定は妥当ですか | A | A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある | Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 有効性 | 5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度) | B | A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 効率性 | 6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて) | C | A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない | A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| | 7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか | A | A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 公平性 | 8. 受益者負担は適切ですか | A | A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| その他 | 9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか | A | A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中 | A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 分館・公民館講座等での報告会の開催等 |

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

| | |
|--|--|
| 改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。) | 28年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 石臼原遺跡・羽場崎遺跡から出土した石器の図化をすすめる。 | [反映内容] 遺物整理委託事業 |

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

| | |
|--|---|
| (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。) | 上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック |
| 埋蔵文化財発掘調査から得られた資料(遺構・遺物等)の整理・保存、また、発掘物の公開・展示など活用を行ない、町民全体の財産として歴史を伝える重要な役目がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小 |

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記〈今後の展開方針〉 a~e を選択